



ライオンズ国際協会 336-A 地区 2R 3Z

伊予土居ライオンズクラブ

2007年3月号 会報誌



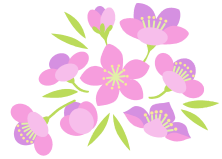
『全員参加で楽しく愉快な例会』

2006～2007年度
■スローガン■

3月17日新居浜市上部の桜



会長あいさつ 『13 年間お疲れ様でした。』



ラブリバー推進協議会を立ち上げて早いもので、今年で13年になります。この活動は協会会長の相馬先生がライオンズの会長をしていた時に、土居の河川敷“ふるさと広場”を美しく住民の憩いの場になればいいとの思いで始められたそうです。当時植えた桜の木も今では立派に成長し、たくさんのお花見客で賑わっております。これも一重に相馬会長はじめクラブ会員の方々の、

毎月一回の河川敷清掃のおかげだと感謝しております。

また、この活動も地域住民に知れ渡り、住民の河川敷に対する意識も変わり、当時に比べてゴミが大変少なくなりました。今では“ふるさと広場”は土居町にとってなくてはならないものになっているように思っております。私はこの活動に参加できることを大変誇りに思っております。また、これからも出来る限りラブリバーに参加するつもりです。

相馬会長をはじめ会員の方々、長い間早朝の清掃作業お疲れ様でした。そして、またこれからも健康に気をつけてみんなで頑張っていきましょう。

伊予土居ライオンズクラブ会長 鈴木 富男



第一副会長 『“祝”CN例会100%純出席達成 ！』

このタイトル通り皆様と喜びあえることを期待して原稿を書きました。

CN例会は伊予土居LCの生みの親である相引利夫CN、近藤虎雄CN、青木茂美CNのCNメンバーにクラブ会員全員で感謝し、クラブの誕生をお互いに祝う感謝祭だと思います。

3名の皆様にはいつまでもご健康で後輩のご指導をお願い致します。

次回から楽しく愉快的例会の名にふさわしい『CN感謝祭』に名称の変更を提案します。

皆様万難を排し全員出席で楽しいCN例会が続くよう努力しましょう。

第一副会長 長尾 嘉也



会員 会員維持 『勇気こそ、正義の味方、世に受ける。』

地区委員や、地区役員は自らの為に。

吾輩はこの度、来期の地区委員を引き受けることになりましたが、好み勇んで志願してお引き受けをした訳ではありません、クラブの現状や、四囲の諸々の状況判断から伴止む無しとの心境決断に他ならないものであります、只選出の経過はどうであれ、お引き受けした以上は自分なりの尽力で臨む覚悟はしていますが、私とて役職に対する自信などまったくありません、多くの皆さんもそうであると思われますが？水戸黄門のドラマの主

題歌に「人生勇気が必要だ」という歌詞がありますが、人は危険な処に飛び込むだけが真の勇気ではありません、人生何事も挑戦してみる(自分自身を磨きく為に)と云う勇気こそが真の勇気ではなからうか、ライオンズクラブの役職など余分の事とお考えの方も居るかも知れませんが、決してそうではありません、社会全体の良好な基盤構築には重要な役職であります、今後もZ、R、キャビネットに至るまで役職の引き受け機会が多々あると思われますが、皆さん、真の勇気とは何かを良くご理解して頂き、時に役職に立候補も試みる勇気と意気込みを養い育て頂きたく存じます、これこそがライオンズクラブの一員としてのメリットではなからうか、他の組織では試みる事の出来ないクラブ員に与った恩典の一つであると信じて止みません、自分自身の成長と輝きに、牽いてはライオンズクラブの誇りにも、繋がるものと信じます。「習うより慣れを育てるライオンズ」ですから:::

山内 貢



相引先生 89歳誕生日おめでとうございます



2月14日19時から『蔦廼屋』さんで相引先生の誕生祝を兼ねて合同委員会を開催しました。会食には相馬先生から提供のあった猪の肉で牡丹鍋を頂き、武田由美子さんのフラダンスで盛り上がった次第です。



相引先生は伊予土居ライオンズクラブ発足当時の会員で、大先輩であることが我々会員の自慢とするところです。今後益々お元気で活躍されることを心から願っています。

計画 財務 『地球環境改善に一言。』

山川草木の均衡のとれた状態こそが、今望まれる地球への課題ではないでしょうか。去年の秋ある患者さんから松茸の極めて見事なものをいただきました。家族一同、特に私には驚きと、感動という言葉でしかあらわせないものを感じました。今猶、この様なものが出来る状態が残っているのか、地球はまだ捨てたものではないのだと思いました。

山の状態が、海の生物学的環境に影響を与えるとは聞いていますが、当クラブの清掃をもう少し大きな発展的展開をしてみてもは？勿論山の樹木や、山肌に関しての清掃問題なので色々なその土地の習慣や、政治的問題点も浮上してくると思いますが、森高県議もクラブ員なので相談をしてみても如何かなと思います。その地域の“いりあい”とか言っていますが、“たきぎ”等の必要からその地域の合同利用地としての山、昔はこの“いりあい山”が美しく掃除され保全されていたので、先のような見事な松茸が豊富にあったと聞いています。生活の変化により、たきぎ等は必要がなくなり、山へのかかわりあいに変化したことが大きな要因なのでしょう。地域の人々がこぞって山を美しく、草木を大切に願う運動をしてみても如何でしょうか？

まず地域の人々と相談すること、そして理解を得ることから始めたいものです。地球環境は京都議定書では守れないのです。小さな地域の“いりあい山”の山肌を美しく、樹々をいたわり育てることで成就できるものと考えます。問題は簡単なものではないので慎重に諸氏と共に考えましょう。

“いりあい”の言葉の意味

特定地域の住民が、慣習に基づいて、一定の山林原野または漁場を共同で利用し、草・薪炭材・魚介などを採取すること。

一定の地域に住む住民集団には山林原野、漁場、用水を支配できる入会(いりあい)権が存在し、これは憲法第29条が保障する財産権に値する。

相引 利夫



川之江ライオンズクラブ 45 周年記念講演

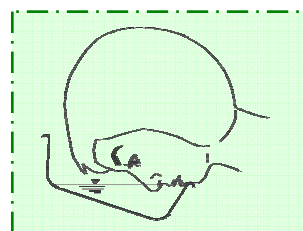
1月18日四国中央市民会館川之江会館大ホールで『夜回り先生』講演会、演題「今、少年が危ない！」が講師水谷 修氏によって行われました。当クラブからも7名が拝聴に参加しましたが来場者が会場からホール、玄関まであふれる大盛況ぶりでした。残念ながら拝聴できないままとなった次第です。水谷修さんは1983年横浜私立高校の教師となって以降教員生活21年間のほとんどの時期を中・高校生の非行・薬物乱用の防止と更生のために活動されました。今でも全国各地の繁華街などを「夜回り」して若者たちとふれあい彼らの悩みや苦しみに取り組んでおられます。



風邪・花粉症対策について (食塩で鼻を洗う方法)

冬から春にかけての風邪・花粉症の対策におすすめ！

1. 食塩8～10gを水(ぬるま湯)1リットルで溶かす。
2. 図のように口と鼻を水につけて鼻からゆっくり吸い込む(口の中に流れ込む)
3. 口と鼻から吐き出し洗面所に捨てる。何回か繰り返す。
4. 残りでうがいをする。



朝・夜2回する。食塩は数種類試した結果、伯方の塩が鼻にはやわらかい感じがした。水だけだと、鼻が痛くて洗えない。鼻水と同じようなものなら痛くないのかも！

用意するもの : 洗面器(プラスチック)・湯・塩
効 用 : 風邪はひかないし、花粉症にもならない。

注 但し、根拠は私のやった事だけデス！

風邪も花粉症もかかってしまってからでは手遅れです。

鼻がつまって洗えないからです。

内 幕: 15年程前に蓄膿症と云われ、青ばなは出る、朝は鼻喉にひっかかっているし・・・でした。ある人に教えられて始めたところ固まっているようなものも流れ出てスッキリする今はハナも出ませんが、続けているせいか調子がすこぶるヨシ！！



近 藤 攻



大橋勝英の種子島探訪(最終回)

金兵衛には「わかさ」という賢く美しい娘と弟がいた。娘は22歳。火薬開発の小四郎という許嫁がいたともいわれているが、島主の意向、島の防備、父の苦悩の解放のため、わかさは求められてポルトガル人に嫁いだという伝説が残っている。

1544年(天文13年)、船の修理を終えたある日、寺の鐘が正午を告げた。金兵衛の懐刀を抱いてわかさは若いポルトガル人とともに船上の人となった。島中の人が見送った。金兵衛親子は船影が小さくなると丘にかけのぼり、水平線に消えるまで名を呼び続け見送ったのである。「わかさよ。體いとうて暮らせ。今さら何を言うても詮ないことじゃが、こうなったからには、一生懸命幸せにならねばならん。異国の水は合はんかもしれんが、困ったことがあったら御仏のご慈悲におすがりしよう。ポルトガルという国へ行くには、必ず天竺の霊峰を仰ぎ見て通り過ぎるのじゃそうな。天竺はお釈迦さまのお生まれになったところ、念仏を唱えて渡るがええ。」

中国の10万人ともいう寧波(ニンポー)で気前のいい日本が話題に上がり、16の船が我先に種子島に向かったという。寧波ではこの種子島帰りのポルトガル人の話を聞いて、商品として考えられていなかった鉄砲が大きな評価を受け、また、南蛮商品が何でも飛ぶように売れるという大げさな噂が広まり、我先に16艘の船が種子島へ出帆したのである。15の船は嵐の海や航路の失敗で消え、1隻の復航船だけが種子島にたどり着いた。そこにわかさの姿がありポルトガルの鉄砲鍛冶がいた(史実)。わかさは何かの特命を受けていたのか? ネジの工法で父の苦勞を見ていたわかさの何かの働きがあったのではないのか?

かくて金兵衛は雌ネジの作り方の伝授を受け、また短冊型の細長い鉄板を斜めに巻き上げて筒を作る巻き張り法を学び、ようやく種子島銃の完成を見たのである。国産の鉄砲の完成である。わかさがいなかったら歴史は大きく変わっていただろう。これが交流のあった堺の橋屋又三郎(後に鉄砲又と言われる)を通じて堺へ、そして信長から全国へと広まった。(金兵衛という者をして其の底を塞ぐところを学ばしむ:鉄砲記)



その他、九州にも伝わりやがて全国に流布され、各地に鉄砲鍛冶が誕生し、堺に3千丁の鉄砲を注文した信長が、長篠の戦で武田騎馬隊を撃破し、その戦術は全国に知られることになるのである。薩摩、大隅、日向の南九州の覇権は、鉄砲を駆使した島津貴久の手中に落ちていった。国中の人はこの新しい武器を「種子島」と呼ぶようになった。鉄砲伝来は戦国の世の混乱に終止符をうち、新時代へ導く導火線となったのである。

ある。

火薬あつての鉄砲だがその製法も特記しなければならない。小四郎が製法の任命を受けていた。ポルトガル人はおおよその混合率を教えたと思われるが、黒い火薬から三種類の原料を分析して割り出すことは不可能であった。三種とは硫黄、炭素、硝石。硫黄は口永良部島や硫黄島から入手できる。木炭も製鉄用として不自由はなかった。しかし硝石は初めてだった。中国南方では天然産があったが国内での入手は困難であった。わが国では古い家の床下や便所周辺の土を集めて、その中の亜硝酸を水溶液として取り出し、灰汁(あく)と混ぜ合わせて乾燥させ硝石の結晶をとった。

このようにして生まれた国産銃「種子島」は、戦国の争乱を収め植民地化を防いだ。国民は金兵衛親子の心血とわかさの犠牲を忘れてはいけぬ。わかさは種子島の墓で静かに眠っている。





追記

1. 後にフランシスコ・ザビエルがこの地を訪れている。1552 年、中国の川上島で熱病との戦いの末、アントニオの腕に抱かれて主の元へ旅だった。
2. この時代タバコも伝来した。嗜好品でなく外科の止血剤としてであった。
(成人識別タバコ自動販売機の試験運用の伝来は平成 16 年 5 月)
3. さつまいも(唐芋)が 1543 年から約 150 年後に伝来。青木昆陽による江戸での栽培より 37 年早い。
4. 1963 年(昭和 44 年)種子島宇宙センター設立

参 照

1. 平山武章 著「鉄砲伝来考」(和田書店)
2. 徳永健生 著「たまゆらの海 火縄銃哀歌」(リブリオ出版) 大橋 勝英

CSF 感謝状贈呈

2月21日の第2例会に於いて2R - 3ZC 服部 正様より
CSF 感謝状が鈴木会長に贈呈されました。



ライオンズアクティビティ

2月7日 仮植樹

四国中央市よりラブリバー推進協議会
に同市の城山公園に植樹の依頼があり、
来年3月頃を目標に植樹することになりました。
まず松と桜の苗木各 200 本を購入しアリーナ土居前の空地にラブリバー
会員とライオンズクラブ員合計約 30 名で仮植樹を行い、
来年城山公園への植樹を待つ事となりました。





ラブリバー（清掃奉仕）

3月14日 土居町ふるさと広場にて

午後1時30分より土居高校生徒と先生方約200名、国際ソロプチミスト会員の方10名、ライオンズクラブ、ラブリバー会員約40名と、伊予銀行土居支店職員の方4名愛媛銀行土居支店職員の方1名他で「土居町ふるさと広場」の清掃を行いました。残念ながら空き缶、ペットボトル、雑誌など2トン車に山積みのごみが集まった次第ですがそれでも数年前の3分の1の量です。高校生の皆さん国際ソロプチミストの皆さんご苦労様でした。尚当日はNHK松山放送局、四国中央TVの取材がありNHKでは当日の午後6時10分からの「いよかんワイド」で清掃のまようと相馬会長のインタビューが放映されました。



2月4日 土居町ふるさと広場にて

午前7時よりライオンズクラブ員17名とラブリバー会員16名でゴミの清掃作業を行いました。厳冬の時期ですが風も無く作業ははかどりましたが残念なことはゴミがなくならない事です…皆さんご苦労さまでした。



「地球の秘密」 関川小学校

1月23日午後1時から土居町関川小学校5年生(生徒数25名)を対象にした地球環境をテーマにした授業が行われました。岩森友紀先生の指導で地球環境を良くする為に何をしなければならないかということ学び、子供たち一人一人が生活の中で自分出来る事を考えたことは将来において貴重な経験になったと思います。子供たちの感想文が小学校から送られています。読み取りにくいと思いますがHPに掲載していますので読んでください。





PR 情報 日 野 寿 光

“編集後記”

新聞で読んだ記事ですが猪年には過去を振り返ると天変地異が多く発生しています。関東大震災、伊勢湾台風、12年前の阪神淡路大震災などです。因みに私の干支は猪でして3月5日に60歳になりました、今年の暖冬は天変地異か何かの予兆かと思ったりする時があります、あるとすれば地震だと思うのですが慌てなくて良いように準備はしておこうと思っています。さて会報誌の表紙ですが当初自宅の満開になった桜を撮影していたのですが偶然発見した近所の桜が快晴の空に見事に咲き誇っているのを見て撮影しました。



2月第二例会の様様

ちよつと小断

新居浜市で皮膚科ご開業の中山恵二先生提供(駄洒落)

タバコは1本でも有害ですが、お酒は適度に嗜めば百薬の長と言われております。しかし、お酒といえども度が過ぎてはいけません。昼間からお酒が飲みたいのは立派な中毒です。アルコール中毒になると認知症の進行も早まることが最近発表されました。業界ではこの病気を「アルチュウ・ハイ マー病」(アルツハイマー)と呼んでいるそうです。

大橋 勝英(次回もお楽しみに！)

伊予土居ライオンズクラブ

愛媛県四国中央市土居町入野 965-1
土居町商会 2 階
TEL: 0896-74-6235
FAX: 0896-74-1136
E-Mail: doi@lionsclub336a.org
URL: <http://doi.lionsclub336a.org/>



2007 年 3 月号 No.131
発行日: 平成 19 年 3 月 28 日
発行所: 伊予土居ライオンズクラブ事務局
発行人: ライオンズ情報委員 日野寿光
企画編集: 株式会社ウイン・ドゥ